

## 【アカデミック・コンソーシアムの構想について】

### 1 背景

都市はさまざまな面で持続可能な地球社会の鍵を握っています。いまや世界人口の半分が都市に住み、世界の75%のエネルギーを消費し、75%の温室効果ガスを排出するなど、地球環境問題の大きな原因になっています。また、農村部から都市部への人口のシフトにより、とりわけ途上国ではスラムの拡大など都市において貧困問題や公衆衛生問題が蔓延し、深刻化。その他にも、都市景観、アメニティ、都市の環境・公害問題、都市の健全な経営など、解決すべき課題が山積しています。

国際社会においても役割を担う「都市の時代」に、都市に所在地を持つ大学も新たな役割が求められています。それは、知的リソースを持つ大学が、行政や国際機関等と協働し、各都市が直面する課題を解決することであり、その過程で行政や市民と有機的な関係を構築して、地域や世界に貢献する大学に生まれ変わることです。そして問題意識を共有する大学等が連携し、各大学・各団体が持つリソースを補完・融合し合うことで、複合化した都市の諸課題の解決、持続可能な社会の創造に効果的に貢献することができると考えます。

横浜市立大学は、このような問題意識を持って、アカデミック・コンソーシアム（持続可能な都市社会のための大学コンソーシアム）の創設を提案します。

### 2 目的

アカデミック・コンソーシアムの理念に賛同する大学や関連団体などの教員・研究者・学生・職員等が相互に連携し、多様なステークホルダー間の協働を確立し、情報やリソースの共有、議論、調査、研究、プロジェクトを進めることで、都市の諸問題の解決、MDGs（国連ミレニアム開発目標）の達成、持続可能な社会の創造など、地域や世界に貢献することをコンソーシアムの目的とします。

### 3 今後の予定

今回のセッションにおいてコンソーシアム創設に向けた意見交換を行い、合意を得た大学や各機関とともに準備委員会（発起人会）を立ち上げます。と同時にまちづくりや公衆衛生などの分野については、パイロットプロジェクトとして動き始めます。

発足した準備委員会のもと事務局体制を整えながら、2010年コンソーシアム創設を予定しています。

## 【都市問題解決に向けた国内外大学による知的ネットワーク形成 —都市と大学における国際協力実現のためのモデル構築—】

